

まちづくり 瓦版

大道理・大向
小学校区
第1回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

4班の主な意見（大向）

よいところ

- ・茶園がある（周りから人がくる）
- ・ふれあいの家（向道湖）農園もある
- ・緑が多い、涼しい、四季感がある
- ・金峰山の見晴らしがすばらしい
- ・二俣神社がある

わるいところ

- ・住宅が建てられない（農振地域のため）
- ・つり橋が通れない市道がある
- ・凍結し危険な道が多い
- ・公共交通不便、バス代が高い
- ・JAがなくなった、駐在がなくなった
- ・地域活動（草刈など）の継続が難しい
- ・若者、子供が減った、高齢者比率50%
- ・市の予算も少なくなっている



まちづくりのキーワード・テーマ
助け合い、支え合うまちづくり

施策メニュー

- ・市営住宅を増やす
- ・家を建てられるようにする（農振地域から除外）
- ・空家を有効利用する
- ・別荘地にする
- ・道路維持管理、公園の維持管理を
- ・バスの存続（料金を安くしてもらおうなど）を考える
- ・下水道、簡易水道を整備する
- ・学校を残す
- ・保育園に入りやすく
- ・光ファイバーを利用したい
- ・人が集まるようなイベントをやる



ワークショップに参加して（終了後のアンケートのご意見です）

- ・我が居住地区にも知らない場所があり、確認に行きたいと思う場所も多々、知ることの大切さも解った。文化や歴史、地域の生活、環境等、種々問題や感動もあった
- ・ワークショップで出た意見をこれからのまちづくりのためにぜひ実践して欲しい

“瓦版”いかがでしたでしょうか。ワークショップをもう一度ふり返っていただければ幸いです。お気づきの点、付け加えたいこと、新しい提案などがございましたら、また都市計画や緑に関することなどまちづくり全般に関わることなどがございましたら、遠慮無く都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。

まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかなければなりません。今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

“私たちのまち”を語り合う、ワークショップが開かれる

7月25日（火）、午後6:30から、大道理公民館において、周南市都市計画課、都市整備課主催の第1回地域別市民ワークショップ（参加者が対等の立場で、意見交換や作を行う方式の懇談会）が開かれました。

ワークショップの目的は、都市計画に関する基本的な計画「都市計画マスタープラン」、及び緑地の整備・保全に関する「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声が計画に反映させることです。

地区内から25人が出席し、市の司会進行のもと、4班にわかれて、地域の「良いところ」「悪いところ」について意見を出していただき、理想とする将来の姿やその実現のための方策などを提案していただきました。

約2時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。

地区の活性化や人が定住していくためにはどうしたらよいかなど、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

作業プログラム

時間	内容	時間
18:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約20分
18:55	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約40分
18:05	ステップ1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
19:30	ステップ2「こんなふうになりたいことを考える」 こんなふうになりたいねマップをつくり整備メニュー整理表に整理する	約40分
20:10	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
20:15	ステップ3「発表」 成果を発表します	約20分
20:20	まとめ	約10分
20:30	おつかれさまでした。解散。	

イチおしは
「仁俣神社と
四季折々の自然」

じゃけん。
小学校の体育館も新しくなったし、みんな協力的で“美人(?)”です！

(よいところで多かった
意見です。)



1 班の主な意見（大道理）

よいところ

- ・山アジサイ、蛍、川のこけ、などの景観がよい
- ・山の道が整備されている
- ・小学校の体育館が新しくなった（耐震性は?だが、）
- ・朝市がある、米おいしい
- ・空気がきれい、星がよく見える
- ・子供があいさつする

わるいところ

- ・住宅地が少ない
- ・周辺部の道路の整備が遅れている、道が悪い、通学路となっている旧道の管理も悪い。子どもが通るところのカーブ等が危険。
- ・道路が凍結する
- ・田が荒れている
- ・夜道が暗い



まちづくりのキーワード・テーマ
ホタルと共生したまち大道理

施策メニュー

- ・住宅を建てて、若い人を増やす、子供が増える
- ・必要に応じて農用地を除外し住宅をつくる
- ・地区内と地区外の人々の交流を進める
- ・合併浄化槽の推進（下水はムリ）を、そのために補助金の額を増やす
- ・登山道の整備を継続する
- ・自然を活かしたレジャー施設（キャンプ場）を整備する
- ・ふるさとに帰ったら市税免除にする



2 班の主な意見（大道理）

よいところ

- ・昔に比べ道路が整備された
- ・自然がいっぱい
- ・小学校に体育館ができた
- ・がけくずれ、事件、事故が少ない
- ・土地が安い
- ・行事には協力的である人達が多い
- ・美人が多い

わるいところ

- ・農振法により農地転用がむづかしい
- ・金融機関がない、店、公共施設が少ない
- ・バスの便が悪い
- ・働く場所がない
- ・若者がどんどん少なくなる
- ・外灯がない、夜歩くと非常に怖い



まちづくりのキーワード・テーマ
みんなが集まる山里

施策メニュー

- ・若者が地区内に住めば奨励金を出す
- ・帰りたくなるような町の雰囲気を作る = 年配者の考え方、意識を変える
- ・大きなスーパーを造る
- ・ほ場整備田以外の農地は宅地に出来るようにする
- ・一坪農園、市民農園を作る
- ・大道理より須々万へ行く公共的交通機関を整備する
- ・動物園を誘致したら良い
- ・JA大道理支所跡地を地域のいこいの場にする
- ・しだれ桜の里を作る
- ・名産品、特産品を造る



3 班の主な意見（大向）

よいところ

- ・歩道ができた
- ・救急体制がよくなった
- ・金峰山からの景観が美しい、桜が美しい
- ・空気がいい、虫他生物が多い
- ・二俣神社無形文化財がある

わるいところ

- ・市営住宅などの数が少ない
- ・災害時の道路に問題がある
- ・耕地が荒れている（畑）
- ・河川公園の立地が悪い
- ・ダム、河川、金峰山の鉄塔の景観が悪い
- ・路線バスの便が悪い
- ・下水道がない
- ・少子高齢化が進んでいる、学校もなくなる



まちづくりのキーワード・テーマ
安心して住める地域作りに向けて

施策メニュー

- ・50戸の市住を建てる
- ・若い農業者を育成する
- ・10年～20年先よりスグ出来る事に手をつける
- ・老人施設を建設する
- ・下水道を整備する
- ・明神やぶの保全を行う
- ・避難所の再検討を
- ・文化財保護に努める
- ・ボランティアを集める（地区外含む）
- ・何をやるにも金が必要です税収が増える行政が必要です。

